

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 斐太高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月4日(火) 14:00~16:00
- 3 開催場所 斐太高等学校 有斐会館 会議室
開催にあたり、委員による施設及び授業見学を実施した
- 4 参加者

会 長	折敷地 淳	前育友会長
副会長	水口 浩美	高山市国府支所次長
委 員	門 希和子	前育友会役員
	坂井 歩	高山自動車短期大学学長
	清水 大地	株式会社清水弥生堂専務取締役 (欠席)
	廣田 早苗	有斐会副会長
	丸山 純平	高山市議会議員・飛騨ジモト大学事務局
	丸山 泰正	育友会長
	山下 八恵子	育友会役員
学 校 側		
	中村 浩一	校長
	深澤 千文	事務部長
	足立 宏	教頭
	駒澤 誠二	教務主任 (欠席)
	日比野 恭一	進路指導主事 (欠席)
	富田 喜友	生徒指導主事
	清水 潤	特別活動部長 (欠席)
	中村 香月	探究活動推進部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 施設及び授業見学について

意見1: 習熟度別授業では、生徒と教員間又は生徒間で会話しながら問題を解くなど、コミュニケーション型の授業を実施していてよい。どのクラスも授業に集中していた。

意見2: 授業形態が変わり、授業でプロジェクトを使って教材を提示していた。教員がプロジェクトを見る生徒の視線を考え、立つ位置を変えながら授業を進めていることもよい。

意見3: コミュニケーション英語のペアワークで、生徒同士の会話は実施していたが、もっと活発に活動する生徒がいるとよい。

意見 4 : 特別教室棟の外壁の剥がれは、長い年月が経った印象がある。剥がれた塗装の落下も危険なので、早急に補修できるとよい。

(2) 令和 6 年度教育指導の重点及び学校経営計画及び各分掌の指導の重点等について

意見 1 : 高等学校DX加速化推進事業の指定校となり、今年度の予算で情報機器を整備すると説明があったが、来年度以降はどうなるのか。

⇒ 今年度に整備した情報機器を、資産として引き続き活用できるように、教員に対して探究活動に活かす研修を計画している。

意見 2 : 高等学校DX加速化推進事業で整備した情報機器を、理系だけでなく文系の生徒についても探究活動等で活用できるように計画しているか。

⇒ ビックデータの活用など、文理に関わらず探究活動に活用する。

意見 3 : 教員の長時間労働が問題になっているが、どのように対策しているか。

⇒ 毎月の勤務時間を調査し、時間外在在等時間が多い教員に対して面談をして、業務内容の把握や業務の偏りなどを確認して、労働時間の削減に努めている。

意見 4 : 大学の入学試験制度への対応についてどのように考えているか。

⇒ 「情報」に対しては、模擬試験や問題集を活用し対応する。また、予備校の動画を活用しての夏季補習も計画している。

意見 5 : 教科「情報」の大学入学試験対策など入学試験制度への対応は、教員の長時間労働につながるのか。

⇒ 「情報」の補習に予備校の動画を用いて実施するなど、外部リソースを活用することで、働き方改革との両立を図っている。

意見 6 : 学校と育友会との連携をさらに深める予定はあるのか。

⇒ 今年度は保護者から学級委員を選定していない。教員・保護者の負担を減らす方向で働きかけをしている。

意見 7 : 育友会から本校への金銭的なサポートはあるのか。

⇒ 例えば、部活動後援会費として部活動の遠征費用などを、教育振興費として進路指導資料購入費などをサポートしていただいている。

意見 8 : 交通安全教育については、自転車のマナーや、ヘルメットの着用など、生徒に引き続き啓発していく必要がある。

(3) スクールミッションについて

意見 1 : スクールミッションの「目指すべき学校像」は、どのくらいの未来を指すのか。

⇒ 10年後から20年後といったの未来像である。

6 会議のまとめ

- ・ 第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・ 今年度から取組む高等学校DX加速化推進事業や大学の入学試験制度への対応などについて、忌憚のない率直な意見や提案があり、今後の学校運営をともに考えていこうとする思いにあふれた大変有意義な会となった。
- ・ 次回以降の学校運営協議会で、各委員からの意見も反映させてスクールミッションを協議していく方針を確認した。